

1人の100歩より100人の1歩を

平成25年度第35回全国中学校軟式野球大会(愛知全中)では、多くの先生方のご協力により、愛知県ならではの運営と「おもてなし」を成し遂げることができました。特に、全試合教職員による審判、初の屋内開会式、生徒役員の育成は、全国各地から今なお高評をいただいています。本年度の徳島全中開催中にも、全国のブロック長をはじめ、多くの競技関係者から「愛知の偉業」という賞賛の声をいただきました。ここに改めて愛知県中学校野球部顧問の先生方とご家族の皆様へ感謝申し上げますとともに、その礎を築いていただいた多くの先輩方に深く敬意を表します。

愛知全中から1年、今年度の県大会は、ハイレベルな競技力と運営力に支えられ、大盛況の中で熱戦が繰り広げられました。愛知県中学校総合体育大会軟式野球大会が、一段とその権威を高めることができたのは、各チームの監督さんをはじめ、審判員から駐車場係に至るまで、多くの先生方の心に「全中の産物を自然消滅させたくない」との思いがあったからに違いありません。

こうした機運を受け、愛知の中学校野球をさらに発展させ得る施策を講じた結果、「愛知県中学生軟式野球連盟」の設立に至りました。本連盟は、県内中学校野球部顧問を中心に、野球(指導)技術の向上、高野連との連携、広報活動などの新事業を展開し、成果を子どもたちに還元していくための組織です。また、休日返上、無報酬で子どもたちの夢をサポートしている顧問の先生方を支えるための組織でもあります。

少子化による競技人口の減少が懸念される中、戦後70年に及ぶ愛知の中学野球の伝統を次代に繋ぐためには、今までにない新たな取組を創造していかなければなりません。そして全中運営を成し遂げた今こそ、まさに県内386チーム、1万3000人の顧問と選手で大きな1歩を踏み出す時だと言えます。顧問の先生方には設立の趣旨をご理解いただくとともに、連盟発展へのご協力を切に願っております。

なお、本連盟は、中小学校教職員のみならず、趣旨にご賛同される方々にも広くお集まりいただき、多方面からのご指導ご助言を糧に運営してまいりますので、併せてご理解とご協力をお願いいたします。

平成26年11月吉日

愛知県中学生軟式野球連盟 理事長 森山正実